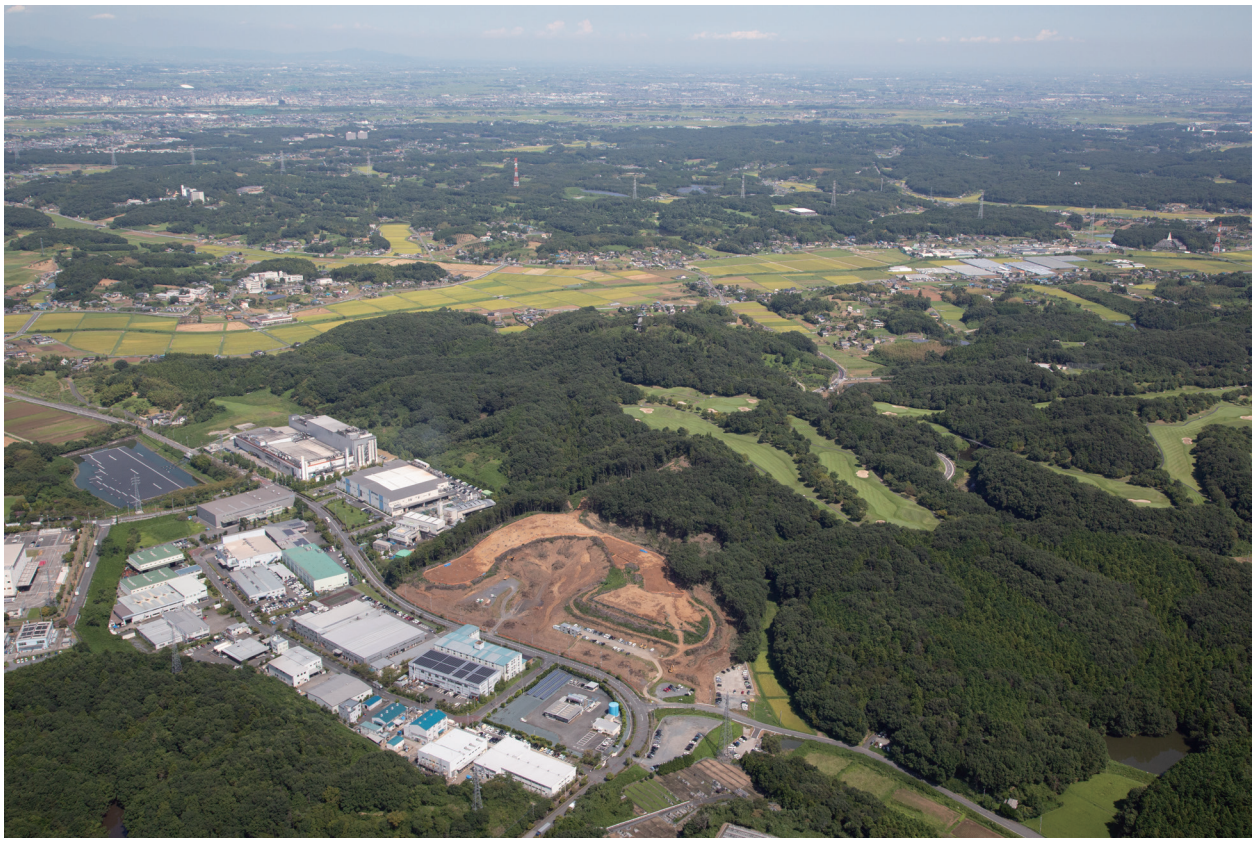
写真図版

1　調査区全景（南から）

図版 2

1　調査区全景（垂直）



2　調査区遠景（南西から）

1　西尾根遠景（南東から）

2　南尾根遠景（上から）

図版４

１　第２・５号住居跡

２　第２号住居跡炉跡

４　第５号住居跡炉跡

３　第２号住居跡炉跡断面

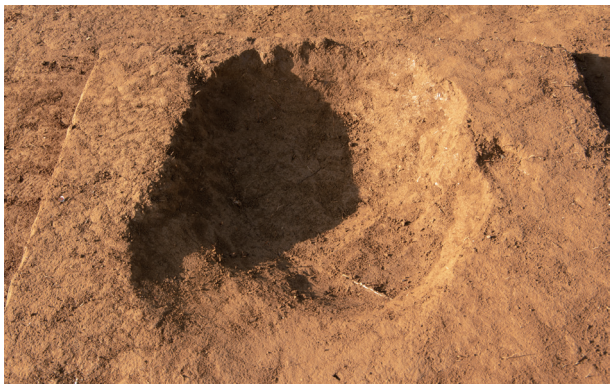
５　第５号住居跡炉跡断面

1　第３号住居跡

2　第４号住居跡

図版６

１　第１号集石土壙検出状況



２　第１号集石土壙

３　第１号焼土跡

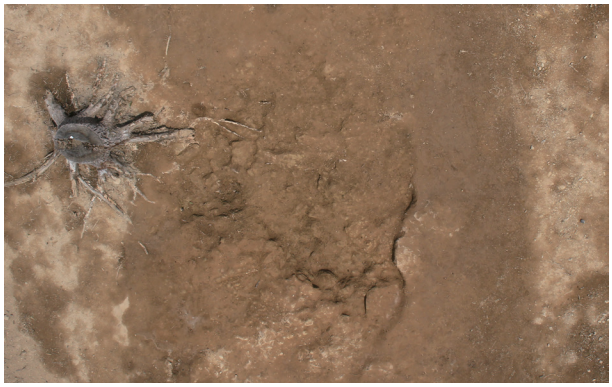
４　第１号焼土跡断面

５　第２号焼土跡

６　第２号焼土跡断面

７　第３号焼土跡

８　第３号焼土跡断面



1　第４号焼土跡

2　第４号焼土跡断面

3　第５号焼土跡

4　第５号焼土跡断面

5　第６号焼土跡断面

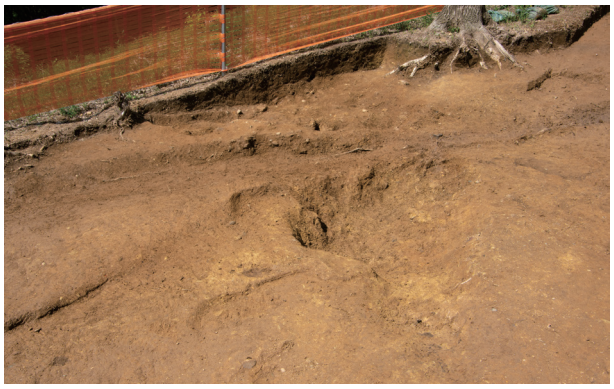
6　第７号焼土跡断面

7　第８号焼土跡断面

8　第 10 号焼土跡断面

図版 8

1　第 11 号焼土跡断面



2　第 12・13 号焼土跡

3　第 12・13 号焼土跡断面

4　第 17 号焼土跡断面

5　第 21 号焼土跡断面

6　第 22 号焼土跡

7　第 25 号焼土跡断面

8　第 27 号焼土跡

1　第１号住居跡

2　第１号住居跡遺物出土状況（１）

図版 10

1　第１号住居跡カマド（１）

2　第１号住居跡カマド（２）

3　第１号住居跡遺物出土状況（２）

4　第１号住居跡遺物出土状況（３）

5　第１号住居跡遺物出土状況（４）

6　第１号住居跡遺物出土状況（５）

7　第１号住居跡遺物出土状況（６）

8　第１号住居跡遺物出土状況（７）

1　第１・２号溝跡（１）

2　第１・２号溝跡（２）

4　第３号土壙（１）

3　第３号溝跡

5　第３号土壙（２）

図版 12

1　第１号炭焼窯跡検出状況

2　第１号炭焼窯跡

3　第１号炭焼窯跡木炭出土状況（１）

4　第１号炭焼窯跡木炭出土状況（２）

5　第１号炭焼窯跡木炭出土状況（３）

1　第２号炭焼窯跡

3　第２号炭焼窯跡木炭出土状況（２）

2　第２号炭焼窯跡木炭出土状況（１）

4　第２号炭焼窯跡木炭出土状況（３）

5　第２号炭焼窯跡木炭出土状況（４）

図版 14

1　第１号道路跡

2　第４～６号道路跡

1　西尾根ピット分布状況

2　南尾根ピット分布状況（1）

3　南尾根ピット分布状況（2）

4　南尾根ピット分布状況（3）

5　B区遺物包含層（1）

6　B区遺物包含層（2）

7　M-13 グリッド袋状鉄斧出土状況（1）

8　M-13 グリッド袋状鉄斧出土状況（2）

1　第３号住居跡（第 17 図 1 ～ 18・20）

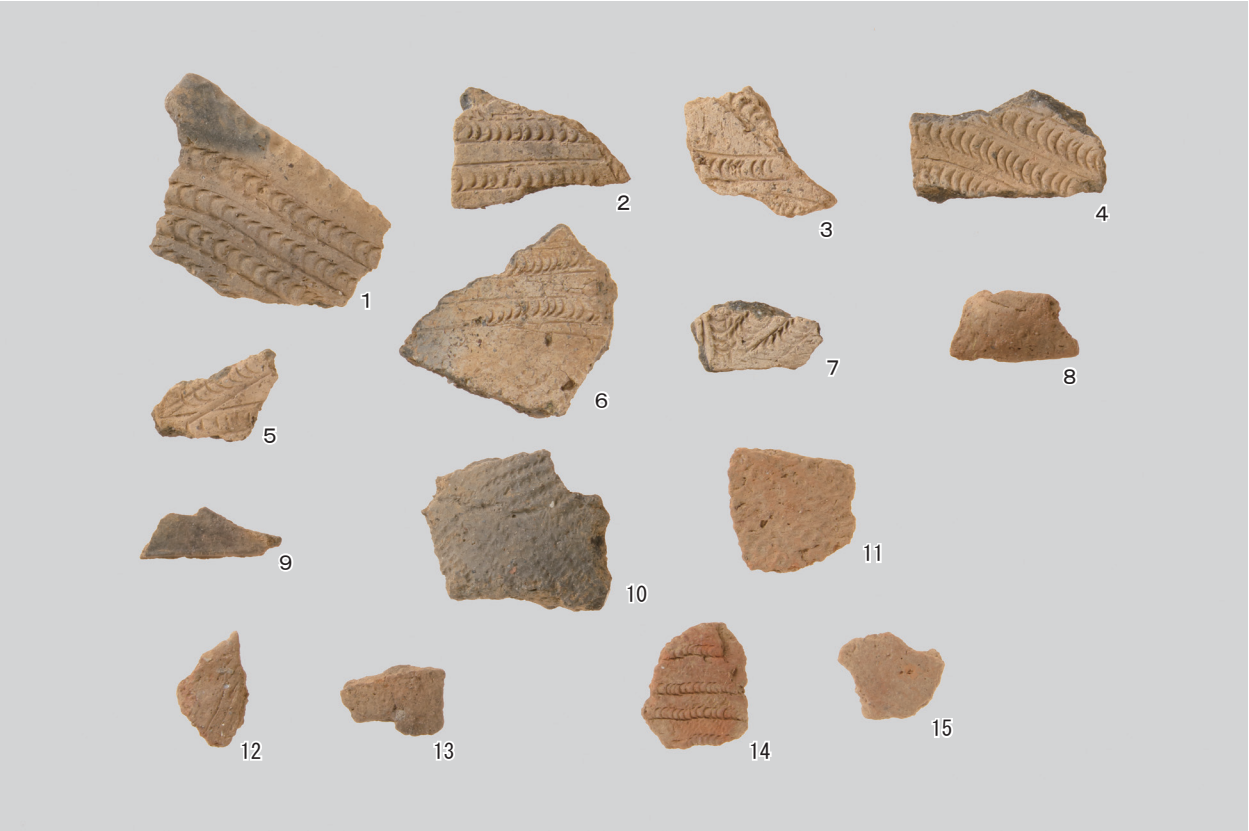
2　第４号住居跡（第 20 図 1 ～ 27）

1　第４号住居跡（第 21 図 30 ～ 36）

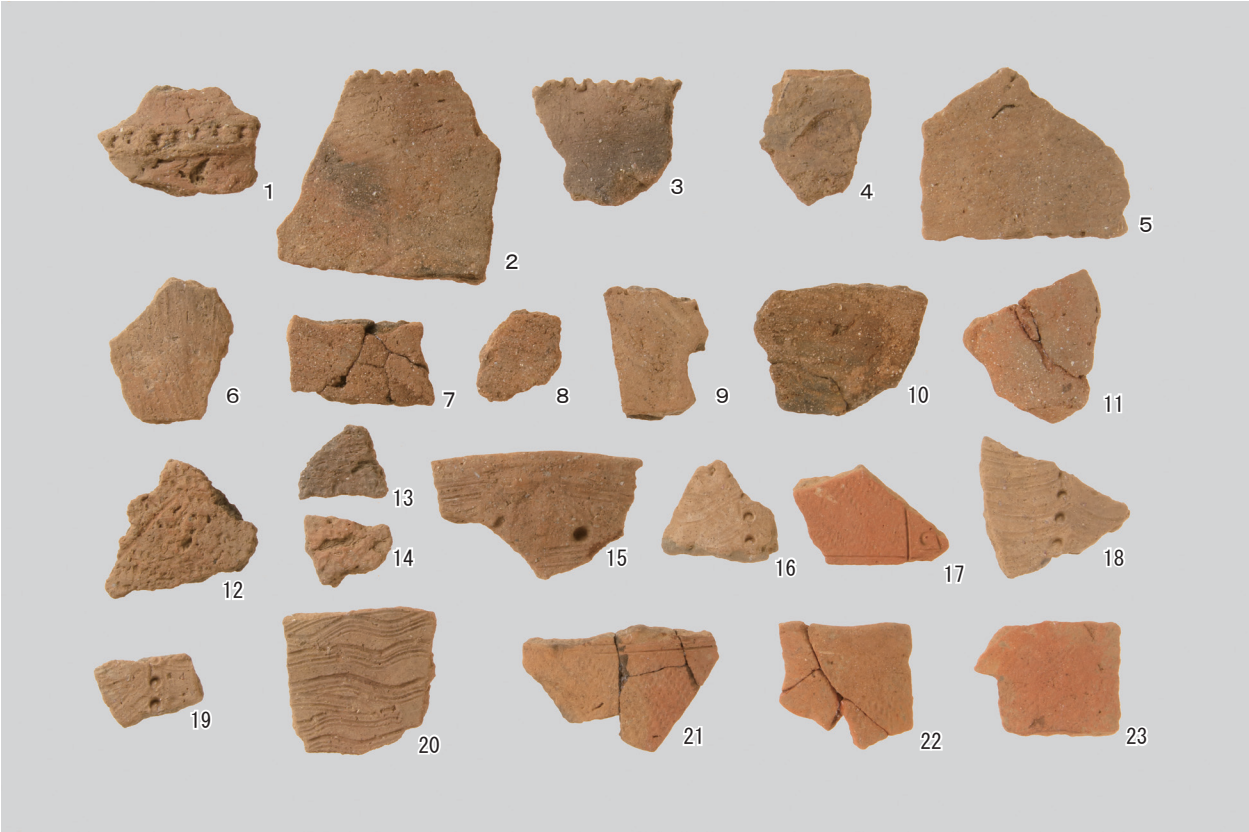
2　第１号集石土壙（第 24 図 1 ～ 10）

1　土壙（第 26 図 1・3～5・8～10）

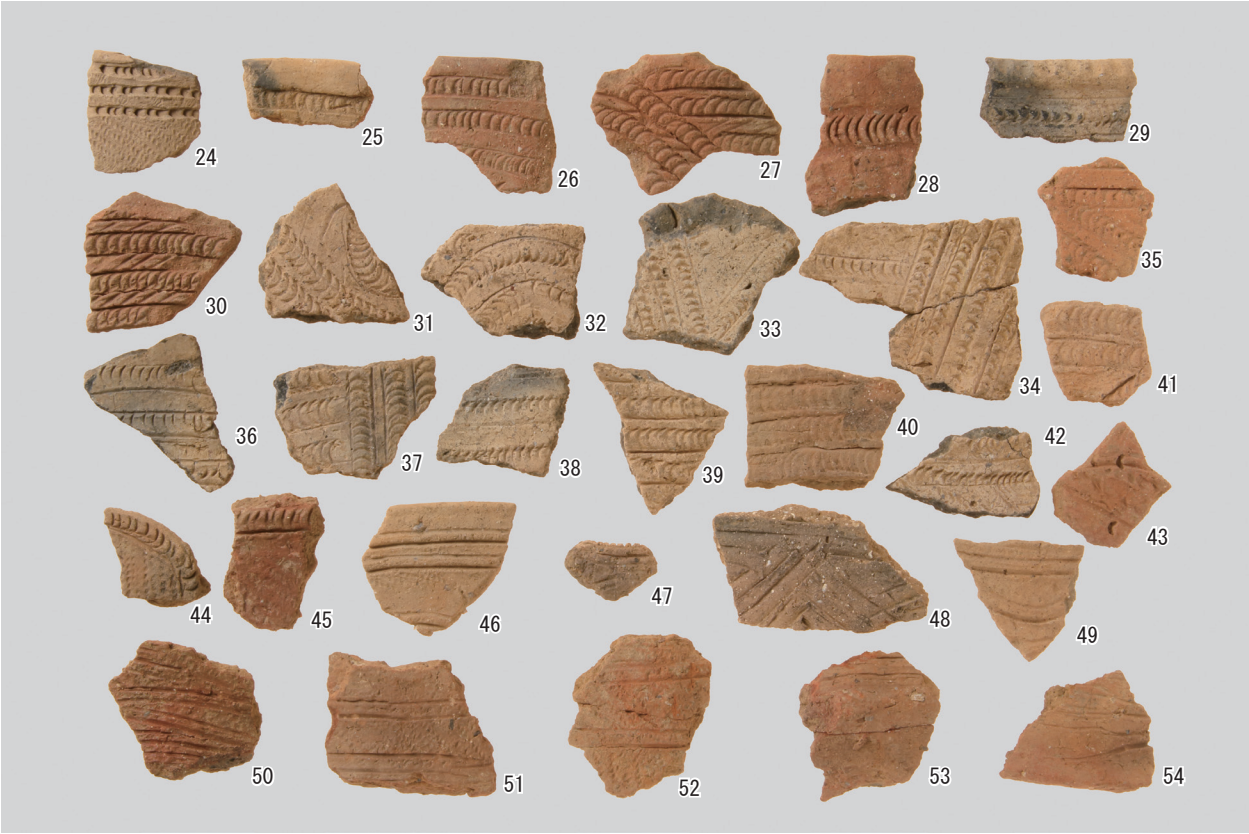
2　土壙（第 26 図 2・6・7・11～13）



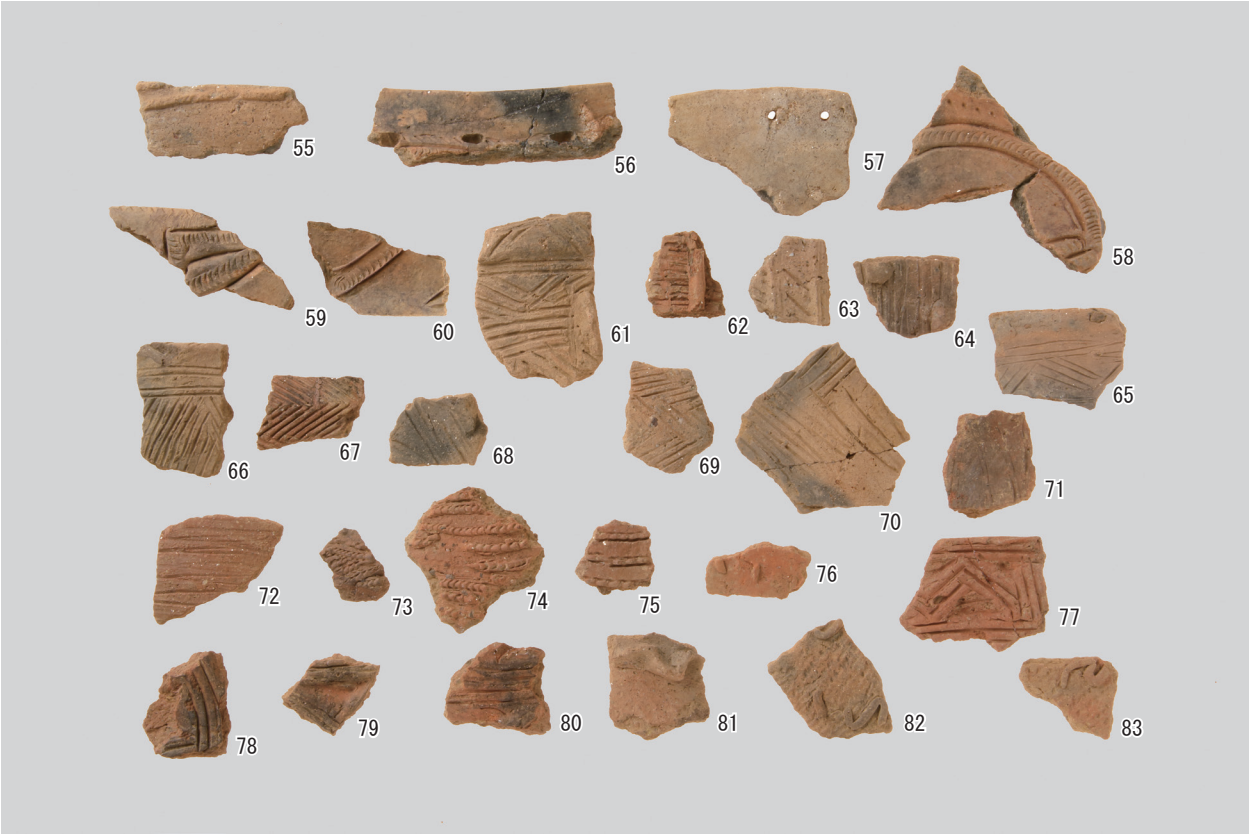
1　焼土跡（第 30 図 1 ～ 15）



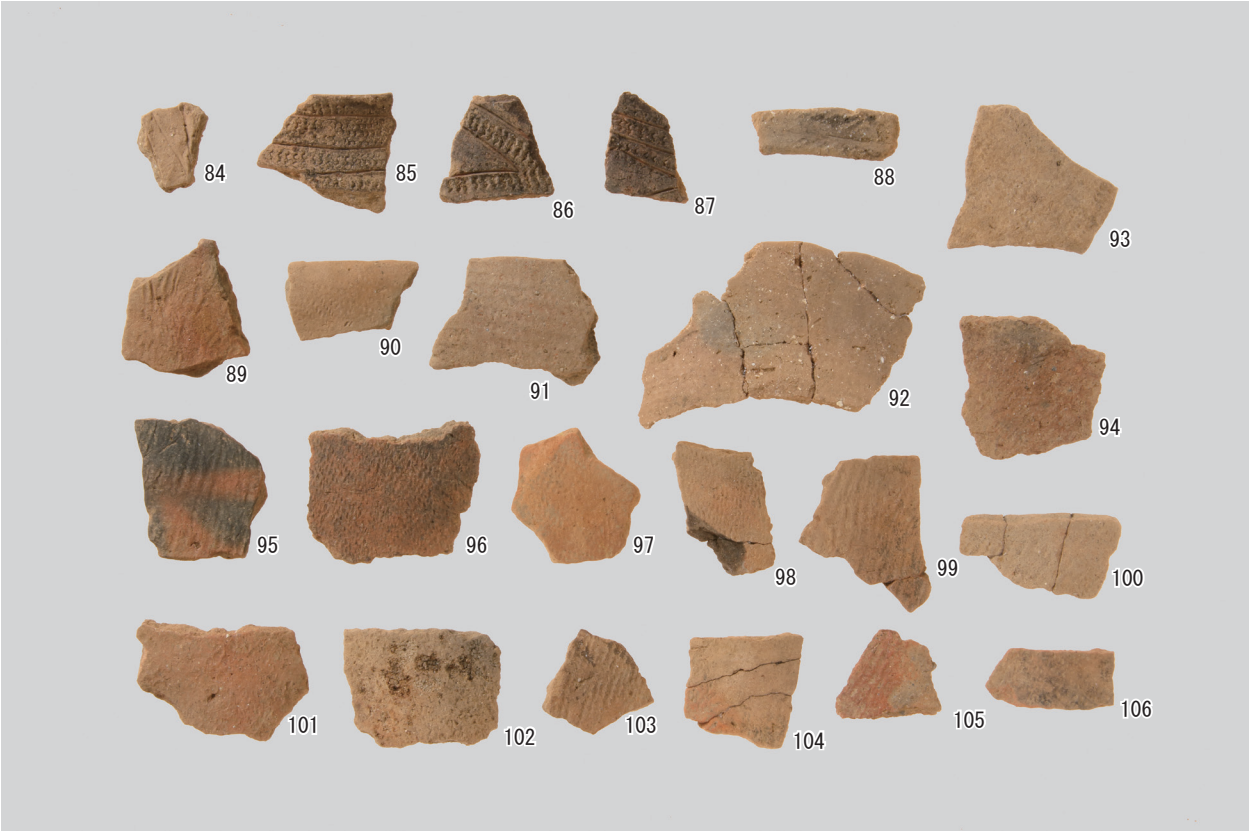
2　Ａ区遺物包含層（第 33 図 1 ～ 23）



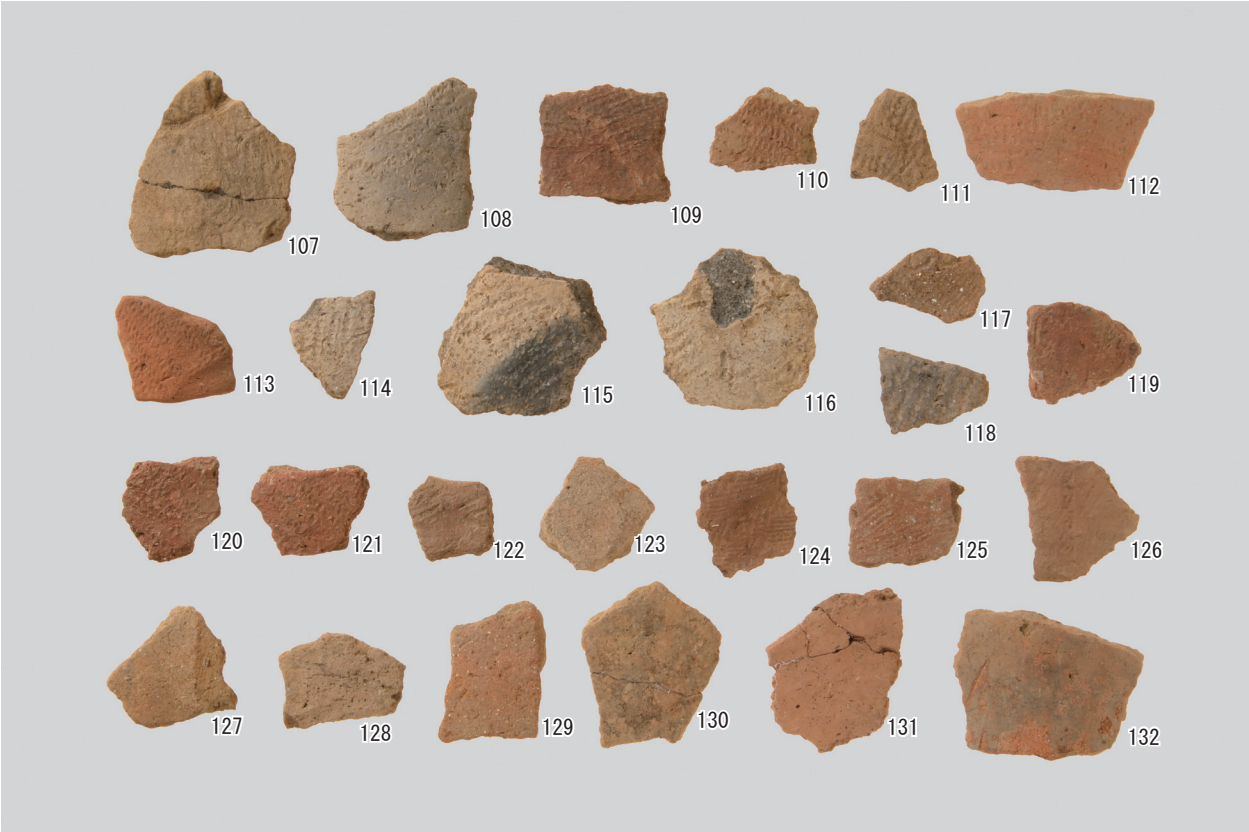
1　Ａ区遺物包含層（第 33 図 24 ～ 54）



2　Ａ区遺物包含層（第 34 図 55 ～ 83）



1　Ａ区遺物包含層（第 34 図 84 ～ 106）



2　Ａ区遺物包含層（第 35 図 107 ～ 132）

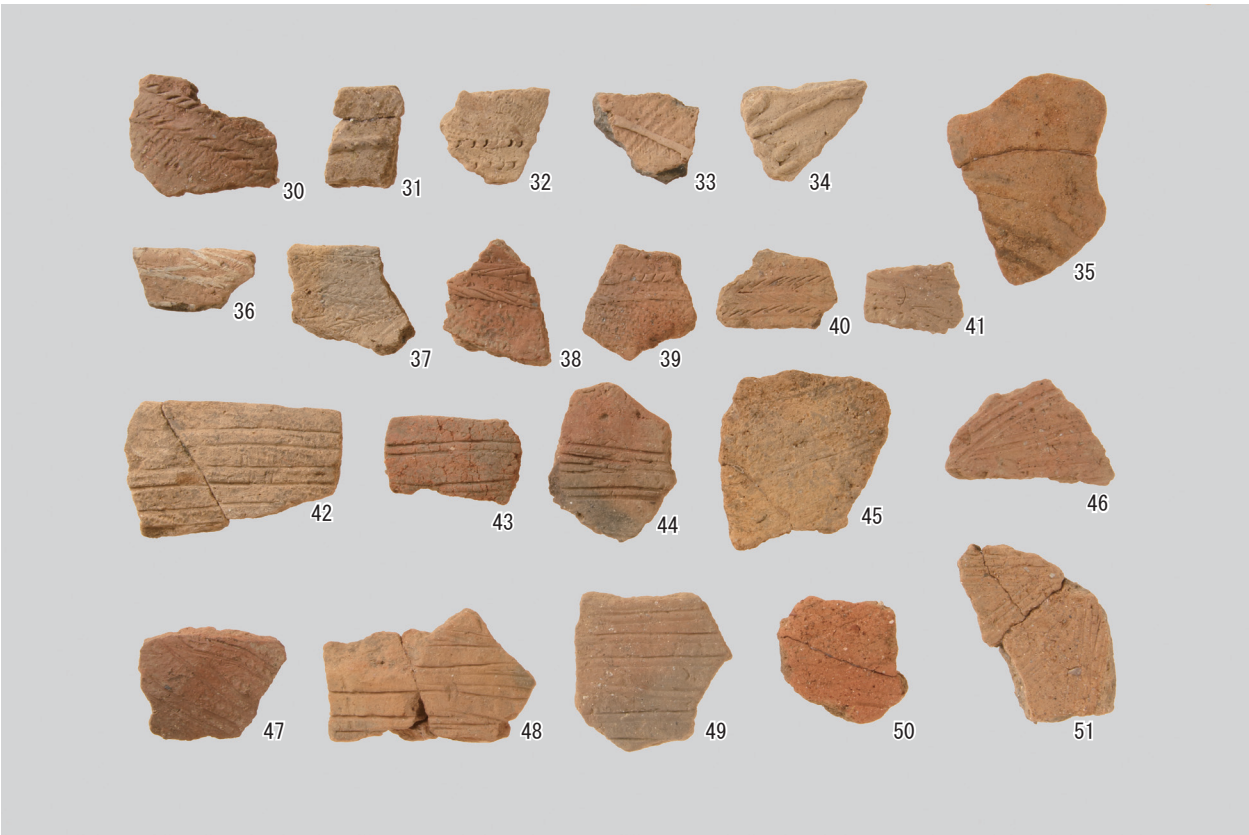
1　Ａ区遺物包含層（第 35 図 133 ～ 145）

2　Ａ区遺物包含層（第 37 図 147 ～ 155）

1　Ａ区遺物包含層（第 38 図 156 ～ 167）

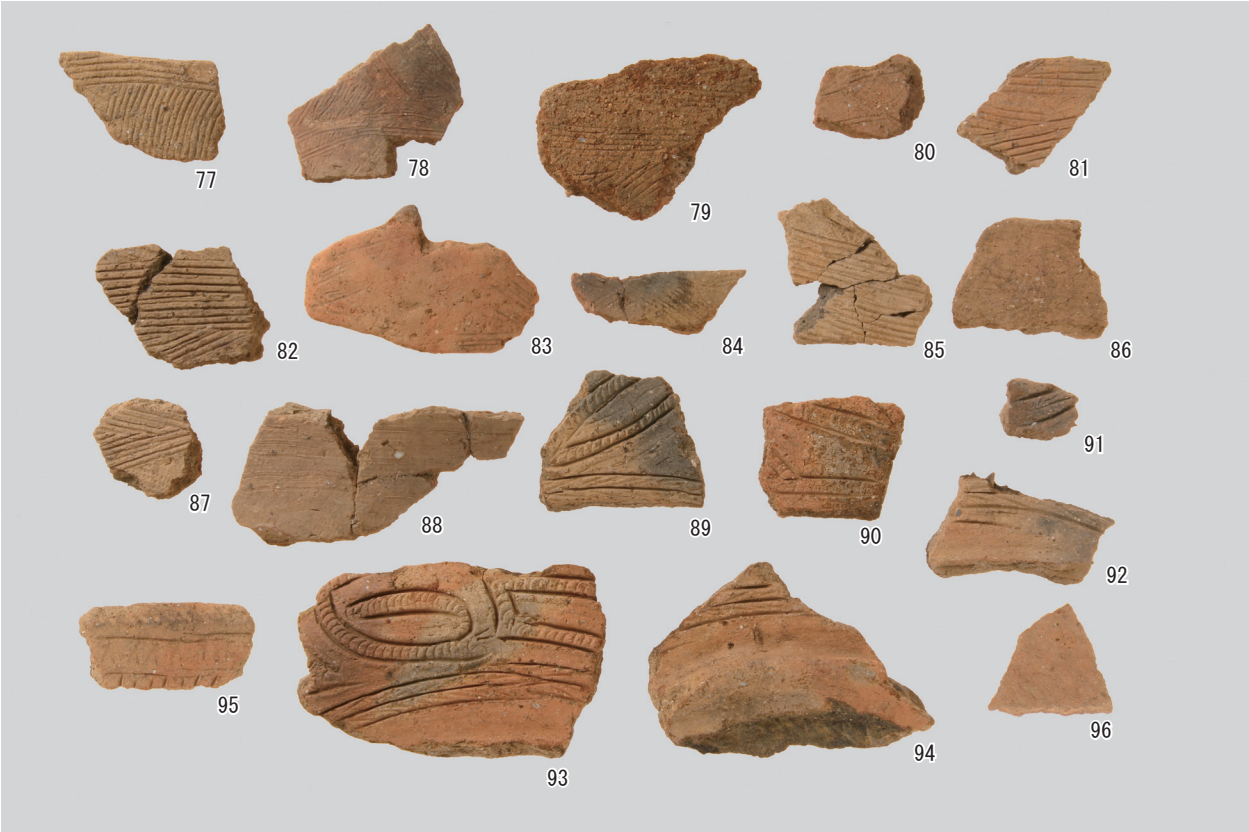
2　Ａ区遺物包含層（第 39 図 168 ～ 172）

1　B区遺物包含層（第 40 図 1 ～ 29）

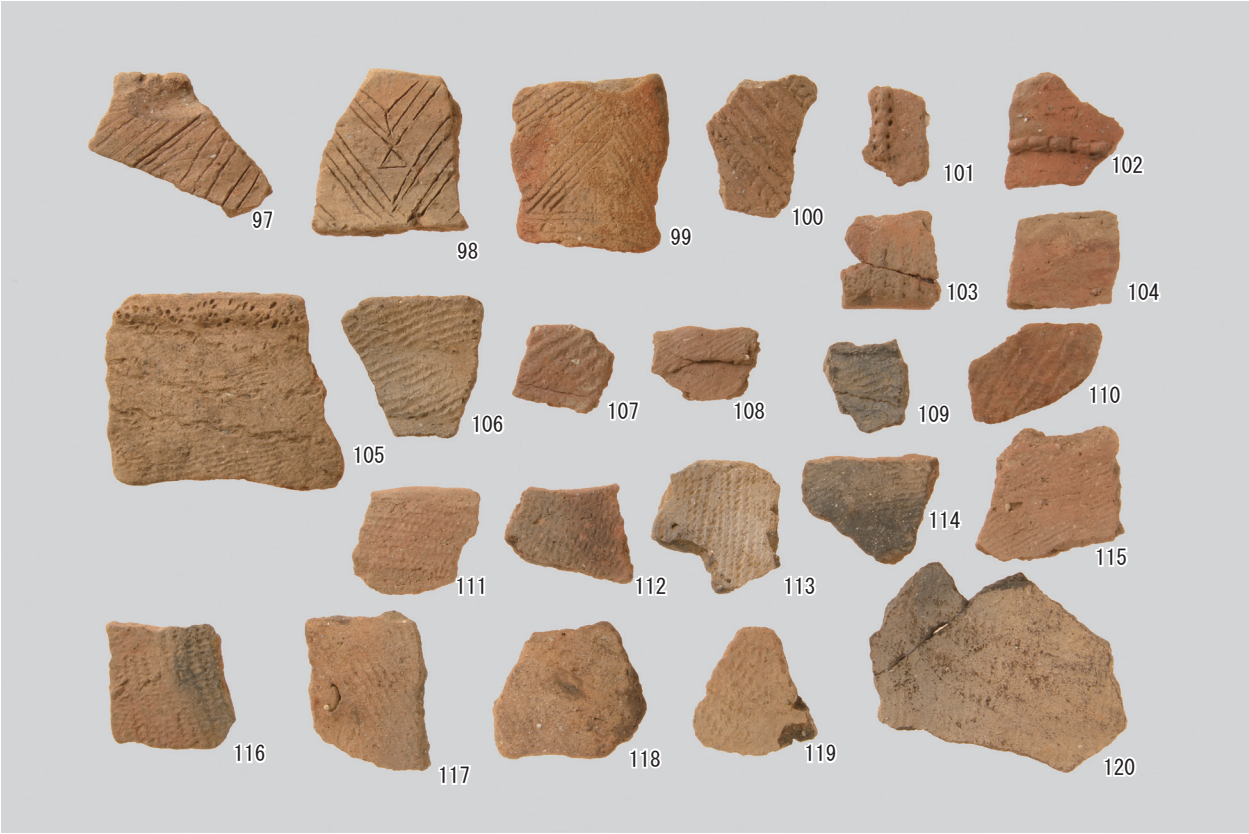


2　B区遺物包含層（第 40 図 30 ～ 51）

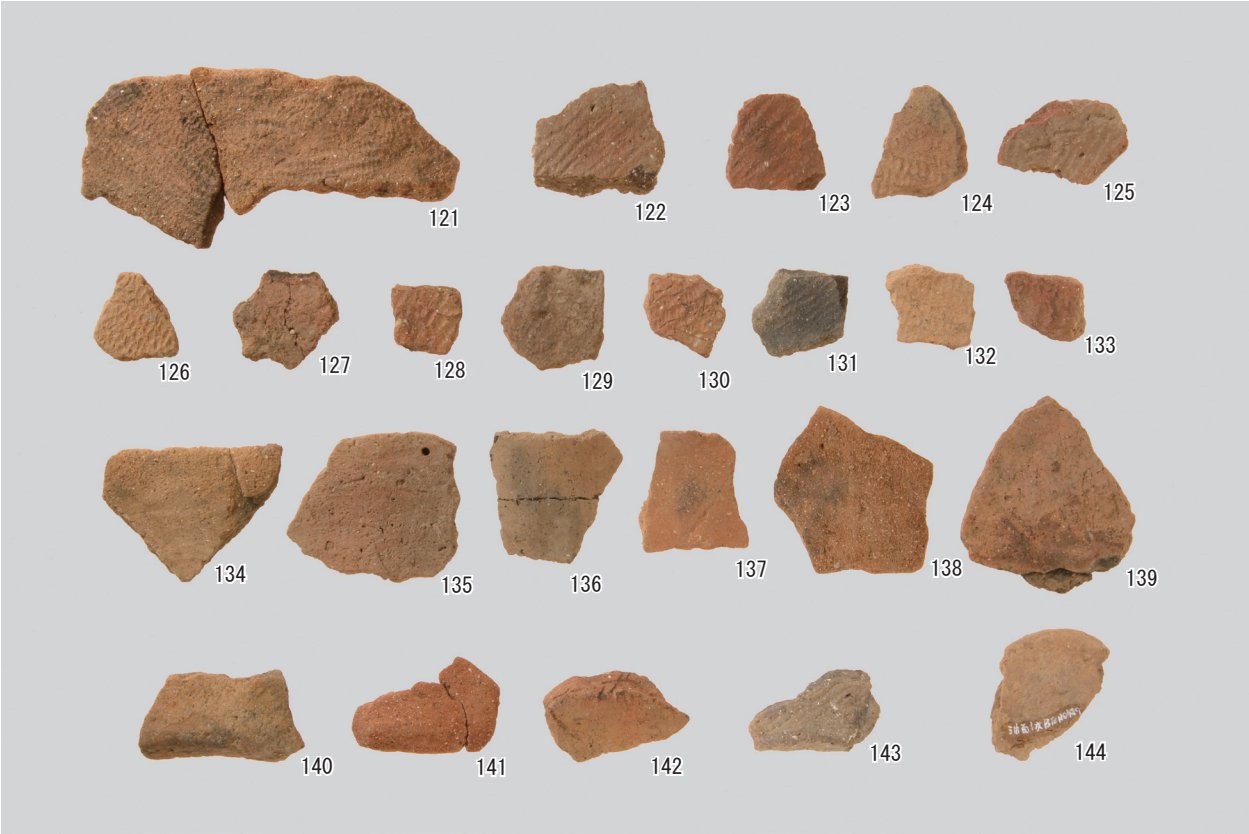
1　B区遺物包含層（第 41 図 52 ～ 76）



2　B区遺物包含層（第 41 図 77 ～ 96）



1　B区遺物包含層（第 42 図 97 ～ 120）



2　B区遺物包含層（第 42 図 121 ～ 144）

1　B区遺物包含層（第 43 図 145 ～ 163）

2　B区遺物包含層（第 43 図 164 ～ 187）

1　B区遺物包含層（第 44 図 189 ～ 200）

2　B区遺物包含層（第 45 図 201 ～ 209）

1　第１号住居跡（第 48 図１）

2　第１号住居跡（第 48 図２）

3　第１号住居跡（第 48 図３）

4　第１号住居跡（第 48 図４）

6　第１号住居跡（第 48 図 10）

5　第１号住居跡（第 48 図７）

7　第１号住居跡（第 48 図 11）

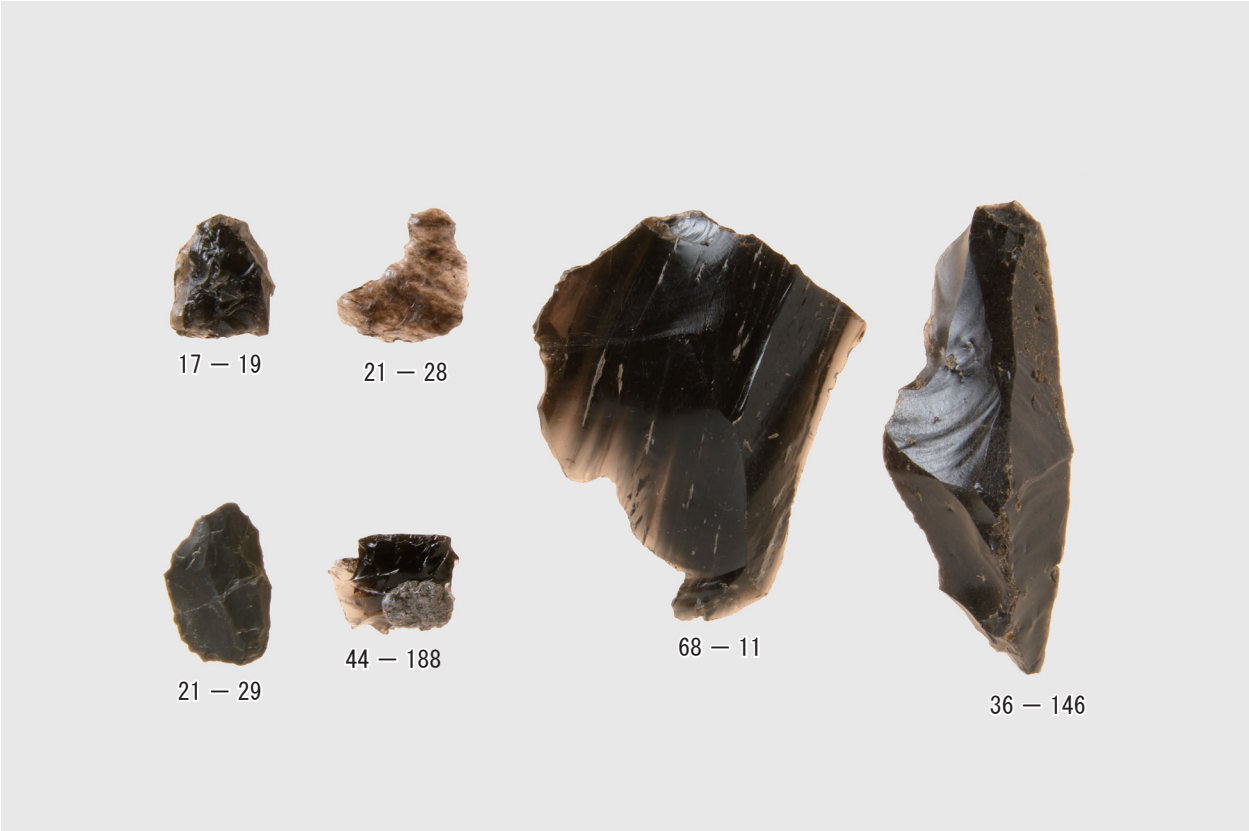
1　第１号住居跡（第 48 図 12）

2　第１号住居跡（第 48 図 13）

3　第１号住居跡（第 48 図５・８・９）

1　第１号住居跡（第 48 図 14・15）

2　ピット（第 68 図 1 ～ 10）



1　小形石器（第 17・21・36・44・68 図）

2　古代のグリッド出土鉄製品（第 53 図 1 ～ 3）

報　告　書　抄　録

ふりがな	あぶらめんいせき
書名	油面遺跡
副書名	２嵐山－14 号　油面遺跡報告書作成業務委託埋蔵文化財発掘調査報告
シリーズ名	埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書
シリーズ番号	第 470 集
編著者名	砂生　智江
編集機関	公益財団法人　埼玉県埋蔵文化財調査事業団
所在地	〒 369-0108　埼玉県熊谷市船木台４丁目４番地１　　TEL　0493-39-3955
発行年月日	西暦 2021（令和３年）年３月 23 日

所収遺跡（ふりがな）	所在地（ふりがな）	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積（㎡）	調査原因
油面遺跡（あぶらめんいせき）（第１次（だいじ））	埼玉県比企郡（さいたまけんひきぐん）嵐山町（らんざんまち）大字勝田（おおあざかちだ）468－１他（ほか）	11342	198	36° 04′ 23″	139° 19′ 28″	20190401～20190930	11,301.47	工業団地用地開発

所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
油面遺跡（第１次）	集落跡	縄文時代	住居跡　４軒 遺物包含層　２箇所	縄文土器 石器	縄文時代前期後葉諸磯式期の住居跡が４軒検出された。
		平安時代	住居跡　１軒 炭焼窯跡　２基	土師器　須恵器 鉄斧　紡錘車	
		中・近世	溝跡　３条 道路跡　５箇所		

要約

油面遺跡は、関越自動車道嵐山小川ＩＣから北東へ約 0.8km の嵐山花見台工業団地南東端に隣接する比企郡嵐山町字勝田地内に所在する。遺跡は、比企丘陵内、馬の背状の尾根上に立地し、わずかな平場に主に縄文時代・平安時代の遺構が点在していた。

縄文時代では、住居跡が４軒確認された。住居跡内からの出土遺物は微量であったものの、住居跡の位置する平場下の斜面から検出された縄文時代の遺物は、縄文時代前期後葉諸磯式期が主体であった。このことから、住居跡も諸磯式期に属するものと考えられる。また、出土した土器片には、早期～中期までの土器片が含まれており、遺構は検出されなかったものの当該時期にも土地利用がなされていたことがうかがえる。

古代では、９世紀後半の住居跡１軒・炭焼窯跡２基が確認された。住居跡からは、土製・石製の紡錘車や袋状鉄斧が出土した。袋状鉄斧は遺構外からもう１点出土しており、注目される。

炭焼窯跡は自然科学分析により平安時代中期から鎌倉時代初期の年代が得られた。遺跡周辺の丘陵には、時期不明の炭焼窯跡が多数確認されており、これらの時期を検討するうえで貴重な資料となった。

埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書　第470集

油面遺跡

２嵐山－14号　油面遺跡報告書作成業務委託
埋蔵文化財発掘調査報告

令和３年３月12日　印刷
令和３年３月23日　発行

発行／公益財団法人　埼玉県埋蔵文化財調査事業団
〒369-0108　熊谷市船木台４丁目４番地１
0493（39）3955
https://www.saimaibun.or.jp
印刷／山進社印刷株式会社